

平成30年度

稲沢市社会福祉協議会 事業計画



基本方針

近年の社会福祉の現状は、少子高齢化に伴うひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の増加、経済情勢による低所得者層の増加、また住民意識の希薄化や核家族化による家庭機能の弱体化など、社会の構造的な変化に伴う福祉課題や生活課題が多岐にわたり、複雑・深刻化しています。このような状況の中、地域全体で課題解決に取り組んでいく仕組みづくりが重要となっています。

本会では地域福祉推進に向けての行動計画である第3次地域福祉活動計画(平成29年度～平成31年度)の「いっしょに創ろう 福祉のまち」の基本理念のもと、住民主体の地域福祉活動の輪を広げ、地域における支え合いの仕組みを再構築し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの実現を目指します。そして地域住民の皆様とともに関係機関やボランティア、福祉団体などの協力を得ながら各種事業の推進と充実に努めてまいります。

重点的事業

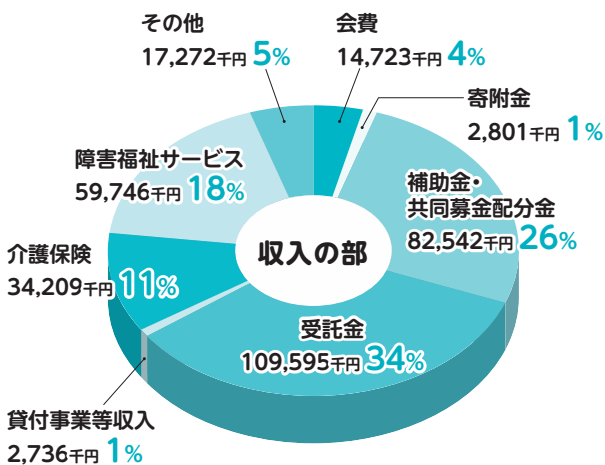
地域福祉コーディネート活動(生活支援体制整備事業)

地域福祉コーディネーター(社協職員)を各支所及び市民センター毎に組織化し、各地区まちづくり推進協議会との連携を強化します。また、地域住民が主体的に活動できるよう様々なサポートや既存の制度では対応しきれない個別の生活課題の解決、支援を必要とするかた(高齢者世帯・障がい者世帯・子育て世帯など)を対象に、友人・隣人・民生児童委員・地域住民が少しずつ協力し合うことによって地域全体で見守る仕組み作り(ネットワーク)をすすめるなど、地域福祉活動の充実に努めます。

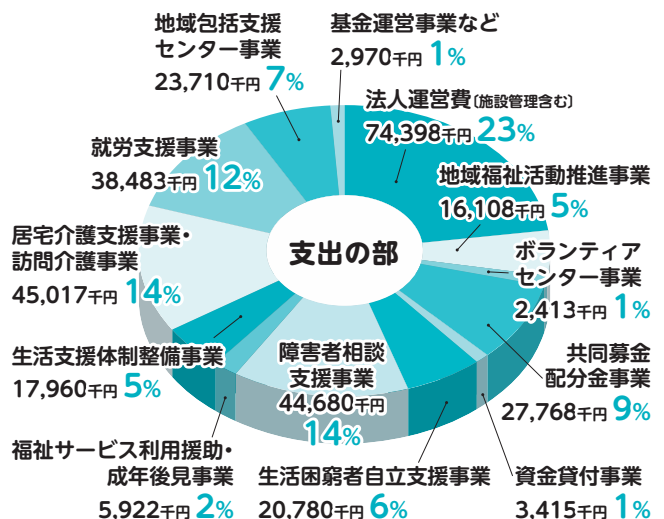
稲沢市社会福祉協議会予算

平成30年度 資金収支予算の内訳

収入合計：323,624千円



支出合計：323,624千円



※事業計画・予算の詳細につきましては、社会福祉協議会本所・支所及びホームページにて閲覧できます。